

スパイウェア対策啓発 WG

WG リーダー
株式会社アークン 蛭間 久季

■ 設立趣旨

近年スパイウェア（不正プログラム）を利用し他人から ID・パスワードなどを不正に入手し、本人になりすましネットバンキングから不正に預金を引き出すなど、様々な犯罪が大きく世間を賑わすようになりました。ウィルスは自己増殖し、ファイルを破壊したり他人に感染させたりすること自体が被害となります。故に利用者から見て被害が簡単に見極められるケースがほとんどです。

しかしながら、スパイウェア（不正プログラム）は利用者が意図しないところで密かにインストールされ犯罪に利用される事が多く、利用者本人が気づかないケースが往々としてあります。またスパイウェア自体の定義が日本国及び海外諸国において、具体的に確立していないのが実態です。

当 WG ではスパイウェアの日本版定義の策定も含め様々な団体、官公省庁との連携によりインターネット利用者へのスパイウェア（不正プログラム）対策の知識向上を目的として安全な情報通信社会の一助となるように啓発活動を幅広く実施する事を主たる目的として設立致しました。

■ 活動内容

当 WG では具体的に下記活動を予定しています。

- 1) スパイウェアの定義策定（現在 IPA 様と連携して日本版スパイウェアの定義を策定しています）
- 2) 他の WG との意見交換や勉強会の実施
- 3) 官公省庁や産業界（団体）などへのスパイウェア対策の啓発協力の呼びかけとスパイウェア関連に関する勉強会の実施
- 4) 海外におけるスパイウェア対策啓発の調査研究など

■ 具体的な活動例

当 WG では啓発の内容などにより都度サブ WG を設立し活動を行っています。

最近の例をあげると下記のように分類されます。

- 1) メディアを通じてスパイウェア対策啓発の記事執筆と寄稿

- 2) 他団体と共同してのスパイウェア対策に関する講演
- 3) 他団体と共同してのスパイウェア対策の啓発活動
- 4) IPA 様と連携してスパイウェア定義の策定と Web サイトの構築

■ 今後の具体的な活動指針

今後は技術革新によりウィルスとスパイウェアの垣根も段々と無くなっていく事が想定されます。欧米では「悪意のある」といった意味でウィルスもスパイウェアなども総称して「マルウェア」などと言われています。

これからは個人や企業を問わず、私達の生活自体にインターネットがより身近にかかわり、より便利な生活になる事でしょう。所謂本格的なユビキタス社会の到来です。

当 WG では対策啓発を教育現場・民間・行政を問わず幅広く「草の根運動」のごとく実施していきたいと思っています。

■ WG の運営

1. 月に 1～2 回程度の会合を工学院にて開催
2. 成果物のひとつであるスパイウェア対策ポータルサイトを 2006 年度内に完成し、幅広く産業界に告知リンクしてもらう
3. WG 全体ではリーダーを蛭間が務めるが、啓発内容によってサブ WG を設立、サブリーダーを選任し活動する
4. メンバー加入は随時受け付けています
御興味のある方は気軽に会合に御参加頂くか、事務局まで御問合せ下さい

